

2025年 1月11日 八ヶ岳 硫黄岳 (美濃戸から)

メンバー L谷内 岩田 村中 森田 (記録)

三連休初日の空は快晴予報。常念岳にテント泊予定だった2名が合流し、4名で硫黄岳を目指しました。個人的に厳冬の硫黄岳は3度目のチャレンジです。去年も先月も強風で撤退していたので、今日こそ登頂したいところ。因みに過去2回は桜平駐車場～夏沢峠から入りました。

暗闇の中、ジムニーで美濃戸口まで行くのですが数台前にチェーン無しでスタックしている車がい動けません。皆で押して助けてあげるというアクシデンが最初に発生しました(私は車内で待機。恐れ入ります)。

気を取り直して6:10スタート。ザックの温度計によると-15度ぐらい。

徐々に明るくなってくる新雪の林道歩きからすでに雪景色が美しい。八ヶ岳ブルーを堪能できる一日に期待が高まります。赤岳鉱泉でアイゼンを装着し、大同心・小同心・横岳を見ながら先へ。

大同心沢分岐を過ぎた辺りから積雪が多くなり、トレースはあることはありますがズボズボはまります。次第に息が上がってきてゼエハアしているのは私だけで他のお三方は息一つ乱れずに余裕で話しています。この体力の違いは何でしょう。赤岩の頭前後はキツかったー。ペースが落ち、歩幅狭くして進むことを余儀なくされました(繰り返しますが疲労しているのは私だけです。ちょっと悔しい。)。それでも途中で見える山々に励まされて10:50硫黄岳ついに登頂!

山頂はもちろん風が強いですがそれほどでもなく、硫黄岳がこれほど穏やかに晴れることはそうは無いとのこと。横岳～赤岳～中岳～阿弥陀岳くっきり。山頂からは360度全て見渡せました。南アルプス、中央アルプス、少し雲がかかった北アルプス。御嶽山も。谷内さんの言う通り、何とも神々しい絶景でこんな雪姿の八ヶ岳を見たのは初めてで言葉が出ませんでした。ここは異世界なのか!?

下山です。諏訪湖が凍っているのを発見したり。小同心クラックには登っている人が見えます。岩がある所は注意して足を置き、降雪多い所ではお尻で滑ってみたり、ズボズボはまったりで飽きることなく降りて行きました。3連休初日、赤岳鉱泉付近ではアイスキャンディー目的のロープ担いだ人達、テント泊装備の人々が続々登ってきます。14時過ぎ、駐車場戻り。車に乗って鏡を見たら日焼けで顔が真っ赤なのに気づき、悲鳴。途中で日焼け止め塗るのをすっかり忘れていた。。そのぐらい今日の八ヶ岳ブルーは最高でした!

そして今回の個人的な学びは2つ。雪のズボズボ歩行。どういう所でアイゼンを装着したり外したりするのか、でした。充実した素晴らしい一日。ますます雪山にハマリそうです。

【コースタイム】

6:10 美濃戸駐車場 8:00 赤岳鉱泉着～8:25 赤岳鉱泉発 8:30 大同心沢分岐

10:20 赤岩の頭 10:50 硫黄岳山頂着 11:00 硫黄岳山頂発 11:20 赤岩の頭 12:35 大同心沢分岐 12:40 赤岳鉱泉 14:05 美濃戸駐車場



